

### 一般会計決算審査特別委員会報告書(抜粋)

歳入については一括、歳出については各款を単位として、適切な執行がされたかを中心に審査を行いました。

なお、今後は次のことについて、留意し執行されたい。

- (1) 歳入は、自主財源としての町税の増収を図り、今後の投資的事業の増大に鑑み財源確保に努められたい。
- (2) 財政計画を綿密に策定し、基金等の計画的な積立てを図られたい。
- (3) 新たに整備する籠場町営住宅と既存の町営住宅の統合を実施するとともに、土地の有効活用を図られたい。
- (4) 寄中学校の統合に伴い、その後の具体的な活性化策を早急に取り組みられたい。
- (5) 決算審査特別委員会で指摘された事項について、改善・研究し、今後の事業を実施されたい。

**問** ドッグランの建物とドッグプール等の外構工事を普通建設事業に入れてもよかったのではないのか。

**答** (政策推進課)

国の補助金の条件等があった関係で、補正予算編成時に、まだ工事請負費がいくらになるのか等見えていなかった段階でしたので、委託料とした。29年度予算については、その辺の反省に立って投資的事業として編成をし

ている。

**問** 今後、町営住宅の建設・小学校の建設・新松田駅周辺の整備に入っていくが、資金繰りや財政の手当はどうなるのか。

**答** (政策推進課・まちづくり課)

町営住宅の建設と小学校の建設は、財政的な資金は考えており、財政推計のシミュレーションをしている。起債は、限度まで行かないので、大丈夫と考えている。

新松田駅周辺の整備は、

まだ金額が出ていないので、今はお答えできないが慎重に検討していく。

**問** 財政調整基金を昨年よりも2千万円減らしている。将来展望を見た限り非常に危ぶまれることですが、どのように考えているのか。

**答** (政策推進課)

2千万円積み立てる予定でしたが、数字がまとまらなかったため、積み立てができなかった。今回の補正で2千万円積み立てた。教育施設整備基金に力を入れて、5千万円積み立てている。

**問** 一般財源を今後確保していく策をどう考えているのか。

**答** (政策推進課)

町税も減っているため、自主財源を採る必要がある。各施設の使用料等の見直しや、水道・下水道の料金の見直しも視野に入れていく。

**問** 地籍調査を実施しているが、効果として固定資産税の影響はどのくらいあるのか。

**答** (まちづくり課)

この事業は、4分の3が補助金で賄われており、土地取引の円滑化や課税の適正化による固定資産税の増収が期待できる。今までに事業を行った効果の累計は、固定資産税は今年度分だけでも4百万円から5百万円の増額になると思う。

## 教育関係

**問** 中学校の合併で、寄中学校体育館は、小学生が使うが、使用頻度は下がるので、どうされるのか。

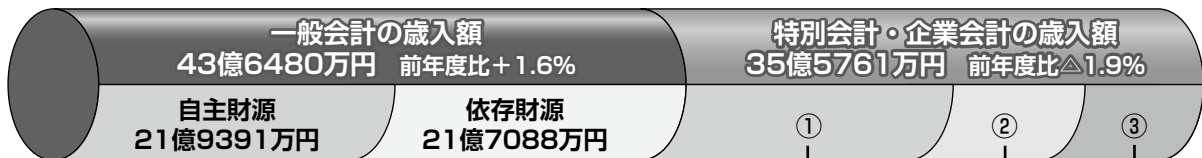
**答** (教育課)

体育館は、使用する団体があるので、引き続き開放していく。

## 平成28年度 会計別決算の状況

9会計の歳入決算額 ⇒ 79億2240万円 前年比 △0.004%

※ 1万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。



- |               |           |              |          |
|---------------|-----------|--------------|----------|
| ①国民健康保険事業特別会計 | 16億9152万円 | ②介護保険事業特別会計  | 9億8328万円 |
| ③その他6会計の合計    | 8億8282万円  |              |          |
| ・下水道事業特別会計    | 3億3791万円  | ・上水道事業会計     | 2億5107万円 |
| ・後期高齢者医療特別会計  | 1億7086万円  | ・国保診療所事業特別会計 | 7289万円   |
| ・寄簡易水道事業特別会計  | 4338万円    | ・用地取得特別会計    | 671万円    |

**自主財源** … 市町村が独自に調達できる財源 ⇒ 町税、手数料、使用料、諸収入、分担金 他  
**依存財源** … 国や県から交付される財源や借金 ⇒ 地方交付税、国県支出金、町債 他